Creative Enzymes®

コリオルス属由来のピラノースオキシダーゼ、組換え型

Cat. No. NATE-0500

Lot. No. (See product label)

はじめに

□明	ピラノースオキシダーゼ（P2O）は、アルドピラノースのC-2位置での酸化を触媒し、□□する2-ケトアルドースを生成します。P2Oは、共有結合したフラビンアデニンジヌクレオチド（FAD）を含むホモテトラマー型のタンパク質です。P2Oのin vivo基質はD-グルコース、D-ガラクトース、D-キシロースであると考えられています。これらはそれぞれ、2-ケト-D-グルコース（D-アラビノヘキソス-2-ウロース、2-デヒドロ-D-グルコース）、2-ケト-D-ガラクトース（D-リキソヘキソス-2-ウロース、2-デヒドロ-D-ガラクトース）、および2-ケト-D-キシロース（D-スレオペントース-2-ウロース、2-デヒドロ-D-キシロース）に酸化されます。ピラノースオキシダーゼは、L-ソルボース、D-グルコノ-1,5-ラクトン、D-アロースなどの炭水化物に□して重要な活性を持っています。ピラノースオキシダーゼがアルドピラノースの酸化を触媒すると、電子が分子酸素に移され、水素過酸化物が生成されます。
用途	ピラノースオキシダーゼ (P20) は、臨床分析における D-グルコースおよび 1,5-アンヒドログルコシトールの測定に使用されます。これは、炭水化物の生体□換を研究するために使用され、糖尿病患者の血糖コントロールの重要なマーカーとして利用されます。
別名	ピラノースオキシダーゼ; EC 1.1.3.10; グルコース2-オキシダーゼ; ピラノース-2-オキシダーゼ; 37250-80-9; P2O

製品情報

種	コリオルス属 (Coriolus sp.)
由来	E. coli
***EC*番号**	EC 1.1.3.10
***CAS*登□番号**	37250-80-9
活性	> 2.7 ユニット/mg 固体
単位定義	1ユニットは、37°C、pH 7.0で1分あたり1.0 µmolの過酸化水素を生成します。

保管・発送情報

保存方法	−20°C